（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・新入社員への、差別を防ぐ教育の実施。 ・相談窓口を用意し周知している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・就業規則第27条14項にてハラスメント行為禁止を明記 ・社員へのハラスメント教育の実施。 ・相談窓口を用意し周知している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・タイムカードによる就業時間管理を実施している。 ・週3回のノー残業デーを実施している。								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・人員募集に際して人種、国籍によらず募集をしている。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・毎朝の朝礼で作業内容を確認し、ＫＹ活動を徹底している。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・相談窓口を用意し周知している。 ・健康習慣アンケートを通して把握に努めている。			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・事務所内をバリアフリーにしている。 ・定年後の再雇用を積極的に実施している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・各取引先メーカー研修への参加を実施し、社員への教育に努めている。				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・給与規程に定められた通り運用を実施している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】健康づくりチャレンジ宣言を実施し、2021年度の健康経営優良法人取得を目指している。			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・廃棄物の分別を徹底し、廃棄業者からマニュフェストを提出してもらい、管理している。											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	営業車および配送車のガソリン使用料を毎月調査し、ガス排出量を算出している。 光熱費から冷暖房にかかわる排出量を算出しする。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・高断熱ガラス、内窓等を設置し、冷暖房を抑制している。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・当社の販売する建設資材に有害物質が含まれていないことを定期的に確認している。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・自社の活動で、生態系に悪影響を与えないよう配慮して経営を行っている。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・就業規則27条5項にて消耗品の節約を明記、周知し紙、アルミ、木、鉄のリサイクル利用を徹底している。												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】毎月の水道使用量を確認し、使用量の減を目指していく。また、トイレ・手洗い場に節水の注意喚起を促して削減に努めていく。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・【予定】3年以内のエコアクション21又は同等のマネジメント規格を取得するため環境を整備している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・【予定】3年以内のエコアクション21又は同等のマネジメント規格を取得し、開示を行う。												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】自社に太陽光発電を導入し、再生可能エネルギーの利用に努めていく。							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】天然資源を使った建設資材の調達を見直し、リサイクル品での代用等を検討し天然資源の使用量を減らすよう努めていく。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・汚職・収賄を禁止する旨を就業規則第27条にて周知。就業規則第39条に懲戒・制裁を記載し、汚職・収賄を禁止している。																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・不正な金品受領の禁止を就業規則27条7項に明記。 ・不正な競争行為が発生しないよう、毎月の会議で確認し、不正な競争行為がないか確認している。																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・知的財産の無断使用を一切禁止している。創業以来知的財産についての違反はなし。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・社員の個人情報は総務部、人事担当のみ管理を行い、電子データはパスワードの設定、原紙は金庫にて保管し、管理を徹底している。																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・【予定】当社の販売する建設資材に紛争鉱物が使用されていないか、毎年8月に確認する期間を設け、紛争鉱物が使われていないことを確認する。																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】建設資材の代理店として、メーカーと協働しSDGsへの取り組みを共有し、お互いの活動を確認する。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・工場内での基本ルールを徹底し、製品・サービスの安全性を確保している。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・毎月各部署定例会議を開催し、品質がよりよいものを提供するには何が必要なのか確認し、社員の向上心を大切にし、よりよい品質の建設資材を提供できるよう取り組んでいる。									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】代理店として、メーカーと協働し、より環境にいい製品の開発を目指していく。						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】快適な住宅を提供するためには、窓の高断熱化が必須であることを広く周知し、高性能な窓の販売により、社会課題を解決していくことを目指す。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	地域貢献・社会貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・環境に配慮した製品の販売に努めることで、地域社会に貢献している。				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・経営者が各種団体に所属し、団体の推進する運動・ボランティア活動に積極的に取り組んでいる。【予定】その運動を社員とも共有し、より大きな力で貢献する。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・【予定】県内産の木製サッシにこだわって販売している窓メーカーと協働し、県内産の木製サッシの販売に注力する。								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・朝の朝礼で企業理念を唱和している。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・労働基準法また、その他法令に則った就業規則を整備している。 ・業務において複数人での管理を行い順守を徹底している。																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・担当者を設け、社会、環境に及ぼす影響の管理、対策を行っている。																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・代理店として、確かな商品を顧客に販売することで、間接的に消費者が納得する、建設資材を販売している。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・【予定】当社にとって脅威的なリスクは、販売先の倒産です。徹底した与信管理を行い、リスクに対する仕組みづくりを行います。																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】建物が地球環境に与える影響は大きく、私たちのメイン商材である窓は、CO2削減に大きく貢献できる可能性を秘めてます。高性能な窓の普及促進に努め、地球温暖化対策にチャレンジします。																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・【予定】事業所を3拠点、配送拠点を2拠点設け有事の際に備えている。災害発生時の緊急連絡をいち早く行い、まずは、社員と社員の家族の為に行動を起こせる体制を目指します。									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・【予定】管理職候補者を一人でも多く作り、事業承継がスムーズに行える体制を目指します。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）